

がん教育実施報告書

学校名	会津若松市立河東学園（前期課程・後期課程）		
実施対象者 （学年・保護者など）	前期課程 5年生・後期課程 8年生		
教育課程の位置づけ	体育・保健体育	道徳	学級活動・HR活動 講演会・行事 その他（ ）
実施日時	令和 6 年 12 月 13 日（金）13:45 ～14:35		
打合せについて	【1回目】方法：来校	内容：授業の進め方と講演内容	
	【2回目】方法：	内容：	
外部講師 職・氏名	職名 NPO がんピアネット 理事長 氏名 鈴木 牧子		
実施内容	<p>○【テーマ】 がんの基礎知識とがん患者への理解と共生</p> <p>○ 指導課程 進行（後期課程保健委員会生徒）</p> <p>1 開会の言葉（後期課程保健委員会生徒）</p> <p>2 講師紹介及び授業導入（後期養護教諭）</p> <p>がんのイメージをワークシートに記入し、全体で共有</p> <p>3 講話「がんと共に生きる～体験者からのメッセージ」</p> <p>がんはどんな病気？・がんの予防・助け合う社会等について お話しいただいた。</p> <p>4 質疑・授業のまとめ（前期課程養護教諭）</p> <p>質問 ・多いがんは？</p> <p>・何歳がかかりやすいか？</p> <p>まとめ：感想をかいて、近くの席の人と話し合い、全体で共有</p> <p>5 お礼のこぼ（5年児童代表2名 8年生生徒代表1名）</p> <p>6 閉会の言葉（前期課程保健委員会児童）</p>		
成果等	<p>*児童生徒の感想</p> <p>「がんは身近なことだから、だれかのことじゃなくて、自分もなるかもしれないと思って、がんの人にやさしくよりそっていくことが大切」（5年女子）</p> <p>「がんになったからとその人から離れるのではなく、やさしく接して支えることが大事だとわかった。がんは誰でもなりうるので、今のうちから、生活習慣を見直して健康にすごしたい。」（8年女子）</p> <p>*外部講師を活用してよかった点や課題</p> <p>○ がん患者さんの体験談は説得力がある。</p> <p>● 道徳の授業として、振り返りの時間が十分とれなかった。</p>		

